

自動車の台数前提

資料3-3
別紙2

預託台数

(単位:万台)

	H16年度 (1～3月)	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度 (4～12月)	H28年度 予算	H29年度 予算	実績累計 (H17.1～H28.12)
新車購入時預託	174	588	563	532	471	489	461	476	522	570	530	494	350	512	505	6,220
継続検査時等預託	786	3,105	2,077	337												6,304
引取時預託(※1)	45	251	187	61	33	13	12	9	7	6	5	4	3	3	3	636
合計	1,005	3,944	2,826	930	504	501	472	485	529	576	536	499	353	515	508	13,161
引取時預託(※2)	0.5	7	19	23	18	21	14	7	7	5	4	3	2	2	2	132
番号不明被災自動車								0.8	0.3	0.1	0.0	0.0				1.3

(※1)後付預託及び番号不明被災自動車を除く。

(※2)後付預託のみ。

引取業者引取台数

(単位:万台)

	H16年度 (1～3月)	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度 (4～12月)	H28年度 予算	H29年度 予算	実績累計 (H17.1～H28.12)
引取業者引取台数	47	305	357	371	358	392	365	296	341	343	333	316	229	330	305	4,053

輸出返還台数

(単位:万台)

	H16年度	H17年度 (7～3月)	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度 (4～12月)	H28年度 予算	H29年度 予算	実績累計 (H17.7～H28.12)
輸出返還台数		2	38	110	144	78	91	93	112	133	150	149	100	150	130	1,200

(※3)輸出返還の実務は、H17年7月から開始。

【参考】H29年度想定台数の算出方法

<新車時預託台数>

- H28年度実績見込みを基に、軽自動車の燃費データ不正問題が新車販売台数に影響を与えたH28年4月～6月を補正(*)したうえで設定

H28年度実績見込み台数 : 500万台 → H29年度想定台数 : 505万台

- 前年度比102%であったH28年7月～12月と同様、軽自動車の燃費データ不正問題が新車販売台数に影響を与えたH28年4月～6月も前年度比102%であった場合の補正台数を算出。

この4月～6月までの補正台数に、7月～12月の実績及びH29年1月～3月の見込みを加え、補正したH28年度実績見込み台数(505万台)を算出。H29年度は新車販売台数に大きな増減をもたらす要因はないと考えて、補正したH28年度実績見込み台数(505万台)と同水準と設定。

<引取業者引取台数>

- 過去4年間の曜日別の台数実績を基に設定

H28年度実績見込み台数 : 309万台 → H29年度想定台数 : 305万台

※払渡台数

- ASR・・・引取業者引取台数を基に、廃車ガラ輸出等により払渡されない分(2.5%)を考慮して設定
- エアバッグ類、フロン類・・・引取業者引取台数を基に、想定装備率(エアバッグ類80.1%、フロン類88.2%)を考慮して設定
- 情報管理預託・・・使用済自動車の引取時から情報管理料金の払渡までに要する期間(1ヶ月程度)を考慮して設定

<輸出返還台数>

- H28年度実績見込みを基に、ミャンマー向けの減少分(△5万台/年*)を考慮して設定

H28年度実績見込み台数 : 135万台 → H29年度想定台数 : 130万台

- ミャンマー政府によるH29年1月以降の右ハンドル車の本格規制による減少